

2012.06.17.

編入生向け特別授業（解析分野）演習問題のセット（5/11）

（以下の問題は「杉浦ほか「解析演習」（東大出版会）」からお借りしたものです。なお、*のついた問題は、面白いけど難しいので、後回しでも良いと思います。）

問 1： 各項が正である数列 $(a_n)_n$ が,

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{a_{n+1}}{a_n} = \alpha$$

を満たすとき,

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \sqrt[n]{a_n}$$

の極限は何か？（存在するか否かを証明付きで判定し、存在するなら極限の値を求めよ.）

問 2： 各項が正である数列 $(b_n)_n$ が, $\lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{k=1}^n b_k = \infty$ を満たしているとする。また、別の数列 $(a_n)_n$ があって、 a_n と b_n の間に

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{a_n}{b_n} = c$$

の関係がある（ c は有限の数）。このとき,

$$\sum_{k=1}^n a_k \bigg/ \sum_{k=1}^n b_k$$

の、 $n \rightarrow \infty$ での極限は何か？

問 3： 実数軸上で定義された実数値関数が関数 f が,

$$\text{すべての } x, y \in \mathbb{R} \text{ に対して } f(x+y) = f(x) + f(y)$$

かつ、ある数 M があって

$$x \in [0, 1] \text{ において } |f(x)| \leq M$$

を満たしているとする。このとき、 f は連続関数である事をしめせ。また、 f の形をできるだけ具体的に定めよ。

問 4： 関数列 $f_n(x) = nxe^{-nx^2}$ の、区間 $[0, 1]$ における、 $n \rightarrow \infty$ での収束を論ぜよ。つまり、極限はあるのか、あるとすれば極限はなにか、更にそのときの収束は一様か否か？

問 5*： 区間 $I = [0, 1]$ 上で定義された、連続関数の列 $f_n(x)$ が、以下の 2 条件を満たすとする：

- すべての $x \in I$ において、 $f_k(x) \leq f_{k+1}(x)$ 、つまり、 x の各点にて、 $f_k(x)$ は k の広義増加関数。
- I において、 $f_k(x)$ は $k \rightarrow \infty$ で、ある連続関数 $f(x)$ に各点収束する。

このとき、 f_n は f に、 I 上で一様収束することを示せ。

問 6*： 次の関数項級数を考える：

$$f(x) = \sum_{n=1}^{\infty} \frac{1}{1+n^2x^2}$$

この級数が収束するような実数 x の範囲を求めよ。また、この級数が一様収束するような、実数 x の範囲を求めよ。

問 7： 各項が正の数列 $(a_n)_n$ を考え、 $s_n = \sum_{k=1}^n a_k$ とおく。このとき、次の二つの級数のうち、片方が収束すればもう片方も収束することを示せ：

$$\sum_{n=1}^{\infty} a_n \quad \text{と} \quad \sum_{n=1}^{\infty} \frac{a_n}{s_n}$$

問 8： 正項級数の代表的な収束判定条件、ratio test は「 $\limsup_{n \rightarrow \infty} \sqrt[n]{a_n} < 1$ ならば $\sum_n a_n$ は収束」という主張だが、これを証明せよ。ratio test についても同様に証明せよ。

編入生向け特別授業（解析分野）演習問題のセット（6/17版）

（以下の問題のいくつかは、裳華房の「函数論」という演習書からお借りしたものです。急いで作ったので、ミスが紛れ込んでいるかもしれません...）

問 9： $f(z) = 1/z$ の解析接続について、具体的に級数を用いて計算して納得せよ。具体的には以下のような考察を行え。

- まず $f(z) = 1/z$ を、 $z = 1$ の周りでテイラー展開せよ。収束半径はいくつか？また、(同じことであるが) この級数が収束するような z の範囲（これを D_0 とする）は複素平面上でどうなっているか？
- 次に、上の D_0 内の適当な一点 z_1 をとり、この z_1 を中心にした級数で、上で求めた級数の解析接続になっているものを構成せよ。この新しい級数の収束範囲（これを D_1 とする）はどうなっているか？
- 次には、上の D_1 内の適当な一点 z_2 をとり、この z_2 を中心にした級数で、上で求めた級数の解析接続になっているものを構成せよ。この新しい級数の収束範囲（これを D_2 とする）はどうなっているか？
- 以下、原点の周りを回り、最終的に作った D_n が $z = 1$ を含むまでこの操作を繰り返そう。その結果を用いて、 $z = 1$ を中心にした級数を作ってみよう。この結果は、最初の級数と同じだろうか？

問 10： $f(z) = z^{1/3}$ の解析接続について、問 9 と同じことを行え。

問 11： $f(z) = \log z$ の解析接続について、問 9 と同じことを行え。

問 12：（複素積分のいろいろな方法を用いて）以下の積分を求めよ。ただし、 a, b は正の定数である。（典型的な問題を集めました。）

$$(1) \int_0^{\infty} \frac{dx}{x^4 + a^4} \quad (2) \int_{-\infty}^{\infty} e^{-x^2} \cos(2bx) dx \quad (3) \int_0^{\infty} \cos(x^2) dx \quad (4) \int_0^{\infty} \sin(x^2) dx$$

$$(5) \int_0^{\infty} \frac{x \sin x}{x^2 + a^2} dx \quad (6^*) \int_0^{\pi} \tan(x + ia) dx \quad (7^*) \int_0^{\infty} \frac{\sin(\pi x)}{x\sqrt{1-x^2}} dx$$

$$(8) \int_0^{2\pi} \frac{d\theta}{1 - 2a \cos \theta + a^2} \quad \text{ただし } 0 < a < 1$$

なお、(7) の積分はもちろん、 $x = 1$ でも広義積分と解釈すべし。

問 13： 以下の諸事実を証明せよ。

(1) $|z| < R$ において正則な函数 $f(z)$ に対して、 $A(r) := \max_{|z|=r} \operatorname{Re} f(z)$ と定義する。 $A(r)$ は、 $0 < r < R$ において、 r の連続な増加函数である。

(2) 冪級数 $\sum_{n=0}^{\infty} z^{2^n}$ は、 $|z| = 1$ 上のすべての点を特異点として持つ。（よって、 $|z| = 1$ を超えて解析接続はできない。）

(3) $|z| < 1$ で正則な函数 $f(z)$ に対して $|f(z)| \leq (1 - |z|)^{-1}$ が成り立っているならば、その導関数に対して

$$|f^{(n)}(0)| \leq (n+1)! e$$

がなりたつ。（補足問題）これから、 $f(z)$ の級数展開 $f(z) = \sum_n f_n z^n$ の係数について何が言えるか？